



株式会社 **笹川組**

2020年度 環境活動レポート

(対象期間：2019年9月26日～2020年9月25日)



発行日 2020年10月14日
発行責任者 村田真朗

認証番号 0008895



目次

1.組織の概要と認証・登録範囲

2.環境経営方針

3.過去3カ年の環境負荷実績

4.エコアクション21実施体制組織図

5.環境経営目標とその実績

6.環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、
次年度の環境経営目標及び環境経営計画

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無

8.代表者による全体の評価と見直し・指示結果

報告要件

報告対象期間

2019年(令和元年)9月26日～2020年(令和2年)9月25日

報告対象組織

環境マネジメントシステムを構築している

本社及び京都支店、湖南営業所、荒張作業所の環境取組を対象とする。



Planning **D**esign
Total Produce
Maintenance **C**onstruct

「匠の技」創業65年の信頼と実績でお客様の納得のいく建物をご提供させていただきます。

当社独自の技術と実績でお客様の納得の行く建物を
相談からデザイン、設計、施工、メンテナンスまでトータルサポート

1 組織の概要と認証・登録範囲

事業者名



株式会社 笹川組

事業概要

会社概要

設立 昭和27年4月
資本金 1億円
代表者 取締役社長 藪本俊作
従業員数 54名(令和2年9月現在)
本社所在地 滋賀県大津市打出浜13番15号

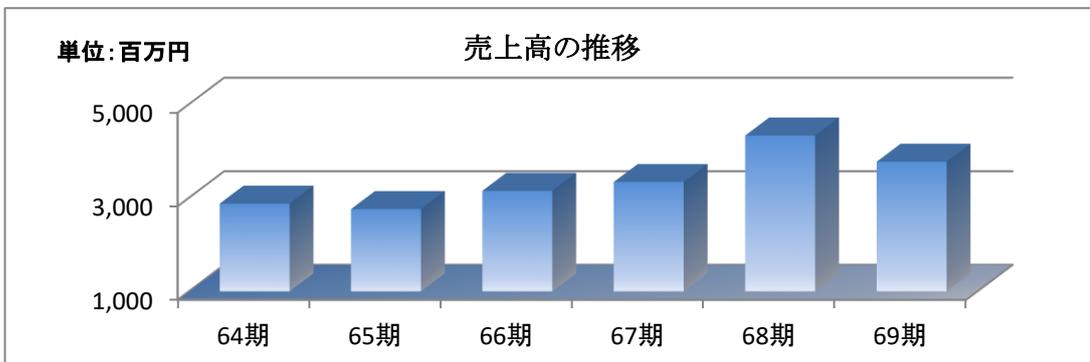
事業活動

- ◆土木工事
- ◆上下水道工事
- ◆建築工事
- ◆解体工事

事業の規模と事業年度

単位:百万円

64期	65期	66期	67期	68期	69期
平成26年9月26日 ～平成27年9月25日	平成27年9月26日 ～平成28年9月25日	平成28年9月26日 ～平成29年9月25日	平成28年9月26日 ～平成29年9月25日	平成30年9月26日 ～令和元年9月25日	令和元年9月26日 ～令和2年9月25日
2,874	2,758	3,148	3,336	4,330	3,770



環境管理関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者

営業部長:村田真朗 連絡先: 077-523-2314

連絡担当者

事務局:酒井 洋・松田斉丈 連絡先: 077-523-2314

許認可

建設業許可

国土交通省 許可 特28-464号

エコアクション21

認証・登録番号:0008895

担当事務局:エコアクション21地域事務局 大阪

品質管理ISO9001

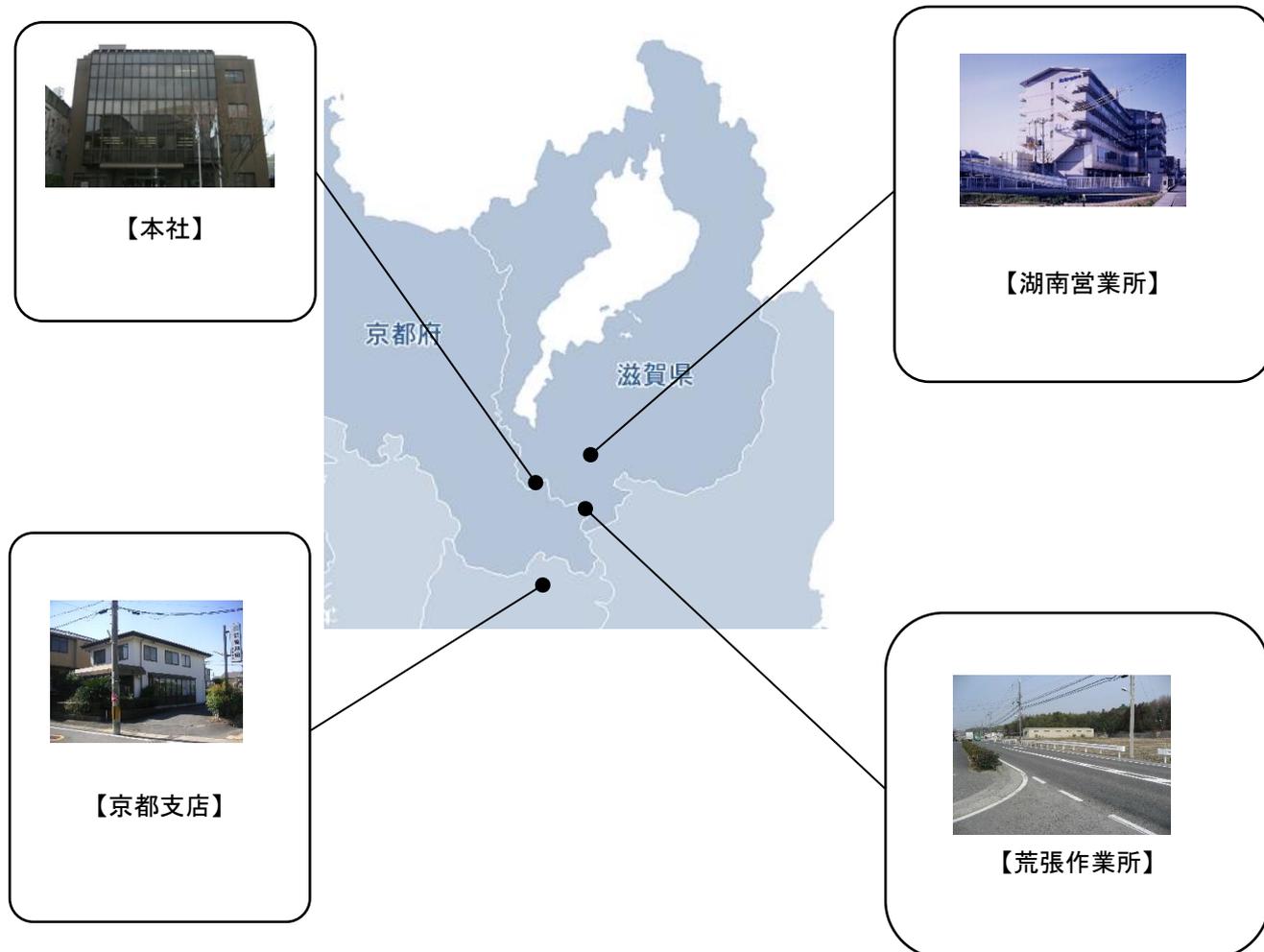
審査期間: ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

認定機関: UKAS

認定番号: CI/1879

所在地及び支店

本社 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜13番15号
 京都支店 〒610-0111 京都府城陽市富野森山14番地の2
 湖南営業所 〒520-3035 滋賀県栗東市霊仙寺1丁目2番19号(ESPO栗東内)
 荒張作業所 〒520-3003 滋賀県栗東市荒張2027



事業組織

面積：㎡	本社	京都支店	湖南営業所	荒張作業所
事務所床面積	2,512.57	153.09	25.38	99.37
倉庫床面積	-	-	-	654.48
駐車場面積	996.00	547.84	786.75	-
資機材置場面積	-	-	-	4,873.00
認証・登録	○	○	○	○

【株式会社 笹川組 本社】

郵便番号: 520-0806

住 所: 滋賀県大津市打出浜13番15号

交通手段: 京阪電気鉄道石山坂本線石場駅より徒歩で5分



【株式会社 笹川組 京都支店】

郵便番号: 610-0111

住 所: 京都府城陽市富野森山14番地の2

交通手段: JR奈良線長池駅より徒歩で10分



環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、琵琶湖を望み水環境への心遣いと共に歩んできた。一方では建設事業を通じて社会資本の充実に寄与し社会の付託に応えてきたが、それに伴い大きな環境負荷も同時に発することになった。ここに今日の地球環境問題の深刻さを見る時、環境負荷の継続的な削減に取り組む必要を痛感し、社員一同ここに以下の方針の下、取り組むことを誓約するものである。

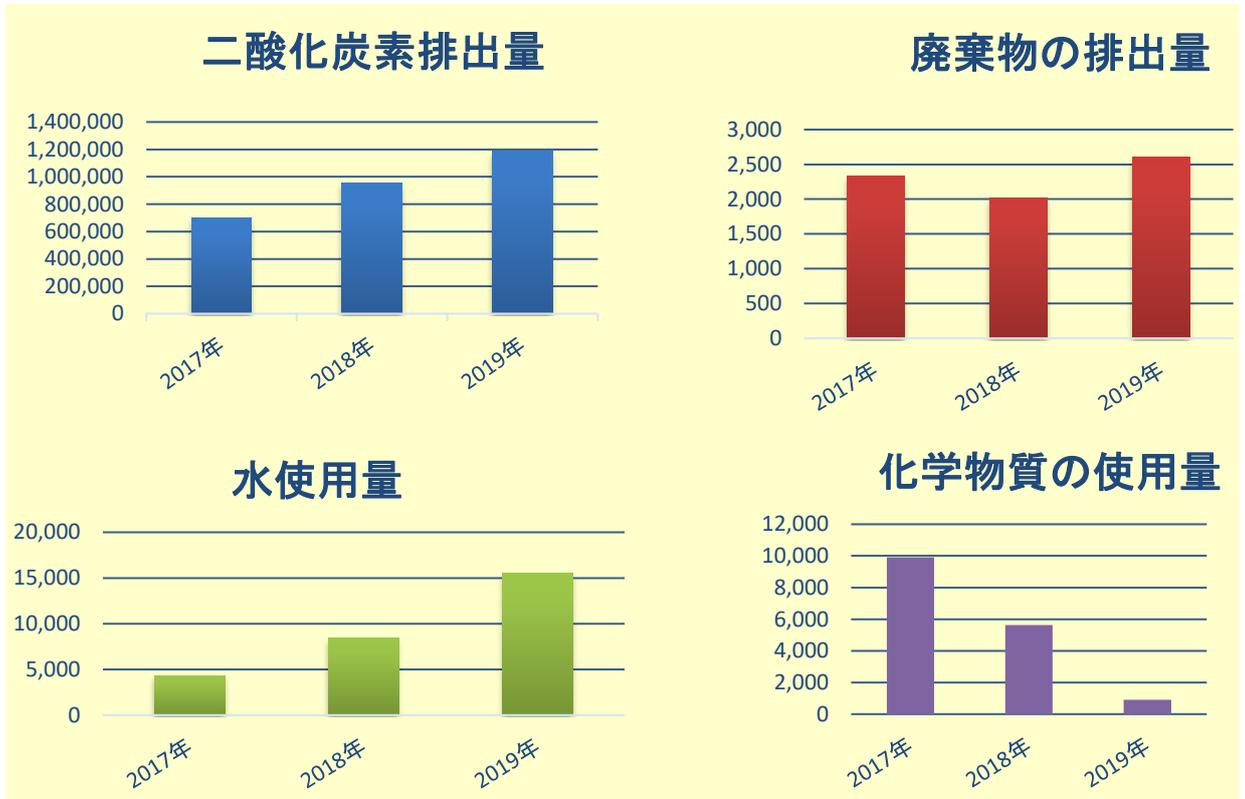
1. 建設事業の企画、設計、施工、維持管理の各段階で例外なく省エネルギー、CO₂削減等、提案、実行する。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ グリーン購入の拡大を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
2. 環境関連法規等を遵守する。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底する。

2019年9月26日

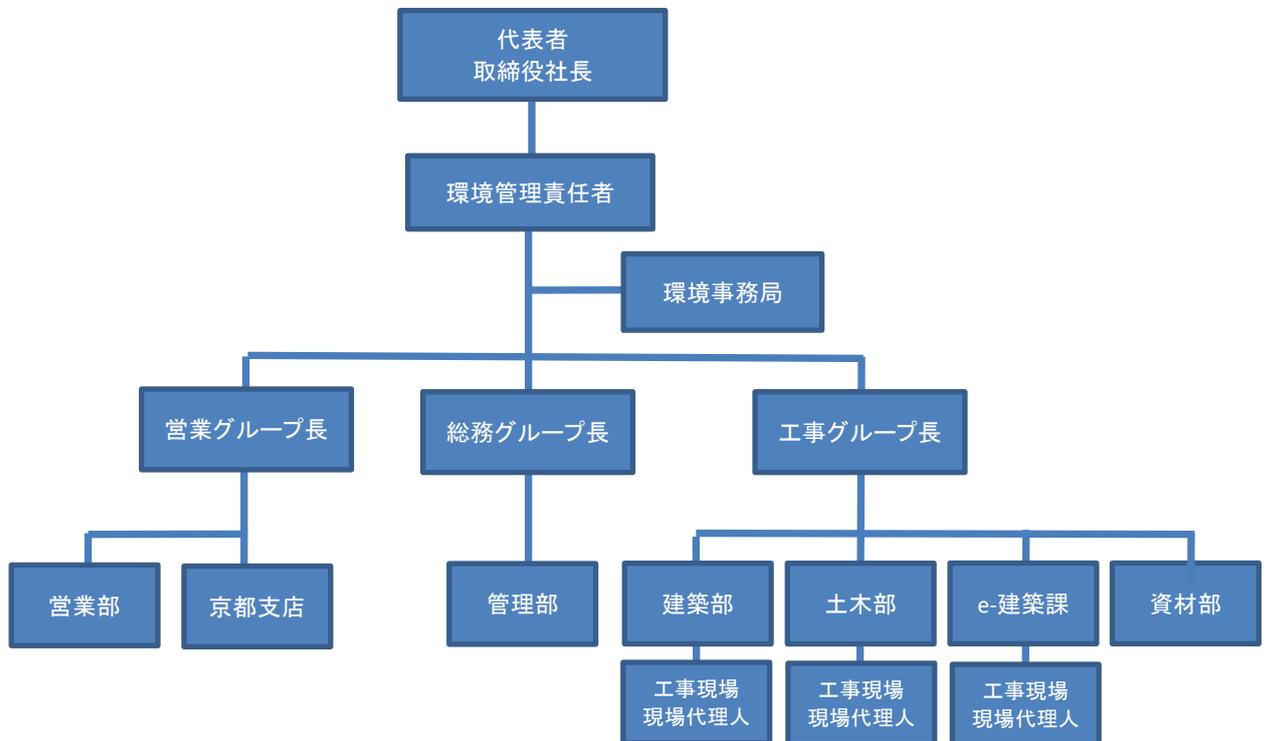
 **琵琶湖川組**
取締役社長 **藪本俊作**

3 過去3カ年の環境負荷実績

項目	単位\年度	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	701,123	951,099	1,184,979
廃棄物の排出量	トン	2,334	2,018	2,600
水使用量	m ³	4,339	8,445	15,528
化学物質の使用量	kg	9,902	5,620	913



4 エコアクション21実施体制組織図



5 環境経営目標とその実績

2017年～2019年の実績を把握し、その3ヶ年平均を基準値として、2020年度から2022年度までの目標を下記の通り設定し、2019年10月より環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2019年10月から2020年9月までの運用実績について取りまとめました。

【全社】

中長期

方針	取組項目 CO2排出量係数	年度 単位	基準年	2020年		2021年		2022年		
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ 排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ	%		1.0%	-1.3%	2.0%	-	3.0%	-	
		消費量	98,207.0	97,224.9	98,530.0	96,242.9	-	95,260.8	-	
	0.493 kg-CO ₂ /kWh	(kg-CO ₂)	48,416.1	47,931.9	48,575.3	47,447.7	-	46,963.6	-	
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ	%		1.0%	49.6%	2.0%	-	3.0%	-	
		消費量	60,445.2	59,840.7	30,171.6	59,236.3	-	58,631.8	-	
		0.493 kg-CO ₂ /kWh	(kg-CO ₂)	29,799.5	29,501.5	14,874.6	29,203.5	-	28,905.5	-
		事業規模単位：百万円	3,605	4,000	3,770	3,500				
		売上高換算値			28,848.4					
		実績比			51.8%					
	ガソリンの燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ	%		1.0%	10.8%	2.0%	-	3.0%	-	
		km/ℓ	16.5	16.7	18.5	16.8	-	17.0	-	
		消費量	16,518.3	16,353.2	15,237.6	16,188.0	-	16,022.8	-	
	2.32 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	38,322.5	37,939.3	35,351.2	37,556.1	-	37,172.9	-	
	ガソリン消費量の削減 (単位：L) 工事グループ	%		1.0%	99.0%	2.0%	-	3.0%	-	
		消費量	2,123.7	2,102.4	22.0	2,081.2	-	2,060.0	-	
		2.32 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	4,926.9	4,877.6	51.0	4,828.4	-	4,779.1	-
		事業規模単位：百万円	3,605	4,000	3,770	3,500				
		売上高換算値			21.0					
		実績比			99.0%					
	軽油の燃費の向上 (単位：km/ℓ) 総務グループ	%		1.0%	6.1%	2.0%	-	3.0%	-	
km/ℓ		9.8	9.9	10.5	10.0	-	10.1	-		
消費量		2,362.9	2,339.2	2,197.0	2,315.6	-	2,292.0	-		
2.58 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	6,096.2	6,035.2	5,668.3	5,974.3	-	5,913.3	-		
軽油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ	%		1.0%	91.1%	2.0%	-	3.0%	-		
	消費量	308,207.9	305,125.8	27,233.0	302,043.7	-	298,961.6	-		
	2.58 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	795,176.3	787,224.5	70,261.1	779,272.8	-	771,321.0	-	
	事業規模単位：百万円	3,605	4,000	3,770	3,500					
	売上高換算値			26,038.7						
	実績比			91.5%						
灯油消費量の削減 (単位：L) 総務グループ	%		1.0%	22.0%	2.0%	-	3.0%	-		
	消費量	116.5	115.3	90.0	114.2	-	113.0	-		
2.49 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	290.1	287.2	224.1	284.3	-	281.4	-		
灯油消費量の削減 (単位：L) 工事グループ	%		1.0%	100.0%	2.0%	-	3.0%	-		
	消費量	260.3	257.7	0.0	255.1	-	252.5	-		
	2.49 kg-CO ₂ /L	(kg-CO ₂)	648.2	641.7	0.0	635.3	-	628.8	-	
	事業規模単位：百万円	3,605	4,000	3,770	3,500					
	売上高換算値			0.0						
	実績比			100.0%						
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	%		1.0%	80.9%	2.0%	-	3.0%	-		
	(kg-CO ₂)	923,675.8	914,439.0	175,005.7	905,202.2	-	895,965.5	-		
	事業規模単位：百万円	3,605	4,000	3,770	3,500					
	売上高換算値			167,330.8						
	実績比			81.7%						

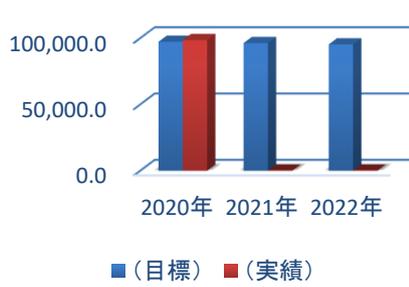
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位: kg) 総務グループ	%		1.0%	-103.1%	2.0%	-	3.0%	-
		(m ³ /年)	2,236.9	2,214.5	4,498.2	2,192.2	-	2,169.8	-
	分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	%			-18.7%		-		-
		(%/年)	-	90.0%	73.2%	90.0%	-	90.0%	-
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m ³) 総務グループ	%		1.0%	18.3%	2.0%	-	3.0%	-
		(m ³ /年)	1,066.3	1,055.7	862.0	1,045.0	-	1,034.3	-
	事業所利用水の節水 (単位: m ³) 工事グループ	%		1.0%	93.9%	2.0%	-	3.0%	-
		(m ³ /年)	8,363.5	8,279.9	504.3	8,196.2	-	8,112.6	-
		事業規模単位: 百万円	3,605	4,000	3,770	3,500			
		売上高換算値			482.2				
	実績比			94.2%					
	濁水防止の設置と適正管理 工事グループ	(件/年)	-	12	12	12	-	12	-
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	(回/年)	-	12	12	12	-	12	-
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	(%/年)		97	90.1	97	-	97	-
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	(回以上/年)	-	12	12	12	-	12	-
	グリーン商品の積極的購入 総務グループ	80.0%に拡大	-	80.0%	73.1%	80.0%	-	80.0%	-

目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の排出係数は、0.493 kg-CO₂/kWh(関西電力2016年度調整後排出係数)とする
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対してのリサイクル率で管理する
- 3 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する
- 4 グリーン購入は、当面事務用品について取組む
- 5 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために笹川5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、スベード)に取り組む
- 6 (実績)列の「%」行は、目標値に対する達成率です。

電力消費量(kWh)

総務グループ



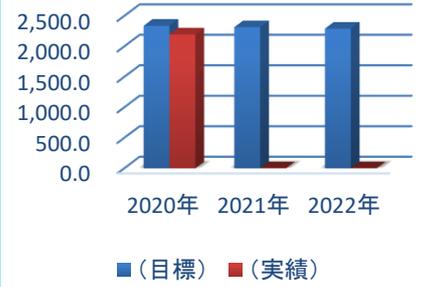
ガソリン消費量(L)

総務グループ

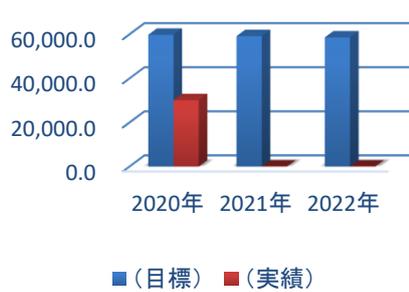


軽油消費量(L)

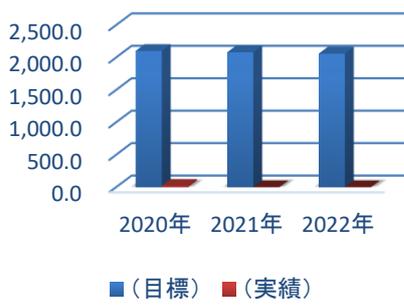
総務グループ



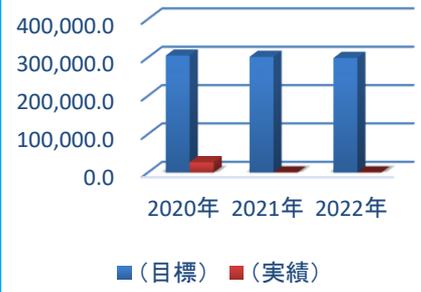
工事グループ



工事グループ



工事グループ

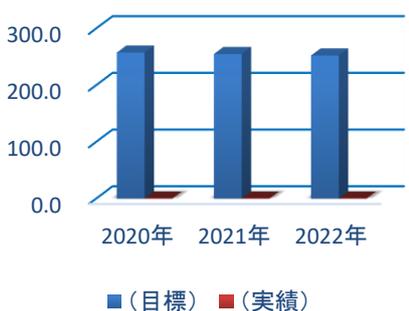


灯油消費量(L)

総務グループ



工事グループ



二酸化炭素排出量(kg-CO2)

全社



6 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門	
事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ 排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ
			1.0%	-1.3%	△	強化	2.0%		
	活動計画	内容			実施状況	次年度			
		① 不用時の消灯			○	継続			
		② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ				継続			
		③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)				継続			
	④ 高効率照明の長期計画採用			継続					
	電力消費量の削減 (kWh) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ
			1.0%	49.6%	○	強化	2.0%		
	活動計画	内容			実施状況	次年度			
① 不用時の消灯			○	継続					
② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ				継続					
③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)				継続					
④ 高効率照明の長期計画採用				継続					
ガソリンの燃費の向上 (単位: km/ℓ) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ	
		1.0%	10.8%	○	強化	2.0%			ハイブリッド車の良好な燃費に支えられ各期間目標以上の効果があった。
活動計画	内容			実施状況	次年度				
	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
	② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
	③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続						
ガソリン消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
		1.0%	99.0%	○	強化	2.0%			ガソリンの消費の減少は洗車用のハイウォッシャーをエンジン付きを電気接続型にすることにより、使用がなくなった。軽油については大型重機の使用が少なく、使用量を抑えた形となった。灯油はストーブの使用が無く、灯油の使用もなくなった。各項目、目標を達成することができた。
活動計画	内容			実施状況	次年度				
	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
	② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
	③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続						
軽油の燃費の向上 (単位: km/ℓ) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ	
		1.0%	6.1%	○	強化	2.0%			旧式トラックで近距離移動の場合が多かったことで、特に空調の利用時とそうでないときの差が目立った。
活動計画	内容			実施状況	次年度				
	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
	② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
	③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続						
軽油消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
		1.0%	91.1%	○	強化	2.0%			ガソリンの消費の減少は洗車用のハイウォッシャーをエンジン付きを電気接続型にすることにより、使用がなくなった。軽油については大型重機の使用が少なく、使用量を抑えた形となった。灯油はストーブの使用が無く、灯油の使用もなくなった。各項目、目標を達成することができた。
活動計画	内容			実施状況	次年度				
	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認			○	継続				
	② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
	③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続						
灯油消費量の削減 (単位: L) 総務グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	総務グループ	
		1.0%	22.0%	○	強化	2.0%			部分暖房での灯油使用も限定され、適切な使用となっている。
活動計画	内容			実施状況	次年度				
	① ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)			○	継続				
	② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
	③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続						
灯油消費量の削減 (単位: L) 工事グループ	数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標	目標・計画の達成・実施状況の評価	工事グループ	
		1.0%	100.0%	○	強化	2.0%			ガソリンの消費の減少は洗車用のハイウォッシャーをエンジン付きを電気接続型にすることにより、使用がなくなった。軽油については大型重機の使用が少なく、使用量を抑えた形となった。灯油はストーブの使用が無く、灯油の使用もなくなった。各項目、目標を達成することができた。
活動計画	内容			実施状況	次年度				
	① ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)			○	継続				
	② 暖機運転・アイドリングストップ				継続				
	③ 環境に配慮した稼働				継続				
④ 更新車両の際低燃費車を採用			継続						

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の内容						責任部門	
		数値目標	目標	実績	達成状況	次年度	次年度目標		目標・計画の達成・実施状況の評価
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進 (単位: kg) 総務グループ	数値目標	1.0%	-103.1%	×	強化	2.0%	宅配物等の増加に起因してダンボール、シュレッダーごみの増加が目立っていること課題とせず、経過観察する。	
		活動計画	内容			実施状況	次年度		
			①資源ごみをリサイクルされる回収業者へ出す			○			継続
	②シュレッダーごみの再資源化			継続					
③電子データで書類の減少					継続				
分別及びリサイクルの推進 (単位: %) 工事グループ	数値目標	目標	90.0%	-18.7%	△	維持	90.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 今期の数値は改修工事によるもので、数値として落胆するものではないと考える。分別は適正にできていることから、目標値は変えず、経過観察とします。	
		活動計画	内容			実施状況	次年度		
	①建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。			○		継続			
②建設混合廃棄物を削減する。			継続						
事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位: m) 総務グループ	数値目標	1.0%	18.3%	○	強化	2.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 2月に漏水があり、増加した。その他はテナントのトイレ使用など不安定な要素がある中では、管理できている。	
		活動計画	内容			評価	次年度		
			①洗車の水使用量を減らす。			○			継続
	②水を流しながらの洗物はない。			継続					
	③植栽散水の効率的実施			継続					
	事業所利用水の節水 (単位: m) 工事グループ	数値目標	1.0%	93.9%	○	強化	2.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 節水の取組みが良くできており、目標を達成できた。	
		活動計画	内容			評価	次年度		
	①洗車の水使用量を減らす。			◎		継続			
	②水を流しながらの洗物はない。					継続			
	漏水防止の設置と適正管理 工事グループ	数値目標	12回	12回	○	維持	12回	目標・計画の達成・実施状況の評価 適正に管理できている。	
		活動計画	内容			実施状況	次年度		
	①オイル吸着材の設置			○		継続			
②漏水発生点の点検			継続						
施工で使用する建材の化学物質の使用に際しては適正な管理に努めます。	化学物質の適正管理 工事グループ	数値目標	12回	12回	○	維持	12回	目標・計画の達成・実施状況の評価 適正に管理できている。	
		活動計画	内容			実施状況	次年度		
①使用する接着剤の有害化学物質を削減する。			○		継続				
②適正管理を行う。					継続				
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 工事グループ	数値目標	97.0%	90.1%	△	維持	97.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 改修工事の1つの作業所でできていなかったが、それ以外の作業所では実施できていたので、大きな課題とせず、指導により改善する。	
		活動計画	内容			実施状況	次年度		
①建設現場周辺の清掃を週一回実施する。			○		継続				
					継続				
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加 営業グループ	数値目標	12回	12回	○	維持	12回	目標・計画の達成・実施状況の評価 問題なく目標を達成できた。	
		活動計画	内容			実施状況	次年度		
	①美知メセナ他活動に参加する。			○		継続			
						継続			
グリーン商品の積極的購入 総務グループ	数値目標	80.0%	73.1%	△	維持	80.0%	目標・計画の達成・実施状況の評価 既に既にグリーン商品がある場合の調達は徹底できており、対象外の購入物の取り扱いについて、抑制できないこともあり経過観察する。		
	活動計画	内容			実施状況	次年度			
①文具房をグリーン商品から選定			○		継続				
②同種、同価格のものはグリーン商品を優先購入					継続				

数値目標 ○:達成している。△:未達で連続すると問題の可能性ある。
×:未達で改善の必要がある。

活動計画 ◎:成果につながり良くできている。○:取り組まれていて問題はない。△:取組に問題の可能性ある。
×:できていない(改善の必要がある)

取組の紹介

環境経営方針のもと活動を行い建設業を通じて地域環境保全に配慮する活動を続けています。

県内には日本一の淡水湖(琵琶湖)があり流域の保全にも一層力を入れて活動しています。

建設業の特性ではありますが工事量増加、重機作業の増減に伴い数値目標が大きく上下するが、低炭素社会実現のため既存建物の有効再利用や省エネルギー提案を進め、各作業所においては近隣環境向上の取り組みとして美化活動を行い良い評価を励みにエコアクション21の活動を推進し、より一層省エネルギー工法技術の採用や地域環境保全に貢献できる企業を目指してまいります。

次年度の主な取組内容

これまでの取り組みに加えIT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の低減に努める。

活動の紹介

【玄関設置のモニターでの環境活動の紹介】

社員だけでなく当社に見えられたお客様やテナント様にも当社の取り組みを知っていただくよう、エコ活動に加え、安全、その他催し等の周知等、その時々に応じた情報を発信しています。



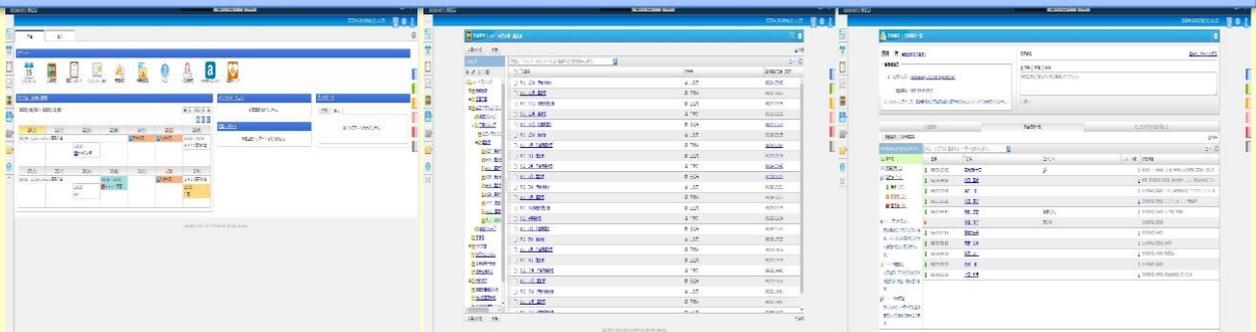
【環境測定の紹介】

解体工事中の振動・騒音測定記録。工事がある日は毎日、午前・午後の二回実施を行いました。住宅街での測定のため近隣への環境活動アピールにも一役かっています。山間部での工事着手前には希少植物調査や河川の透視度観測を実



【グループウェアでの紙資料削減】

社員への一斉配布等、従来の紙書類では手間と後々のごみが増加するため、データ書類で確認できるものから、グループウェアの配信機能を用いて情報共有を図っています。作業時間の効率性にも一役買っています。



【美知メセナ活動への参加、ひまわり、パンジーの植苗】

本社周辺の清掃並びに、幹線道路の歩道を月に1回清掃しております。夏にはひまわりを植え、秋にはパンジーを植えて歩道と植栽の清掃だけでなく、緑化に努めています。地域の法人様の理解もあり、共同で打出浜地域の植栽活動に力を



【現場における汚濁水処理】

掘削により生じた濁水は、PH中和機能付き濁水処理機にて、濁度とPH値を放流基準内に抑えてから放流。作業所内から発生する環境変化で、周囲に対し影響が出ないように自主的に努めています。



【環境活動掲示板による活動状況の把握】

環境活動掲示板には、現状の把握ができ、より身近な例えで意識向上に役立てるよう、エコアクション信号と月々に排出する二酸化炭素量が東海道新幹線では何キロの距離を走行する量に値するのか、また月別排出量を森林で吸収した場



【現場の周辺清掃】

各作業所周辺の清掃活動を週に一度実施しています。周辺が綺麗になるのはもちろん、意識も向上し、作業所内でも整理整頓を含めた5S活動に心掛けています。近隣の皆様にも声をかけていただくこともあります。今期における清掃活動の



【防音シートの活用】

外壁改装工事中での近隣への生活環境配慮として、防音シートのシートを採用し、生活の妨げを和らげる努力にも取り



【作業所や事務所での環境活動掲示板】

作業所における環境活動を記録しています。



【作業所事務所での日よけ対策】

作業所事務所の日よけと室温の上昇を防ぐ工夫として、ゴーヤの栽培を行いました。お客様へのアピールもできました。



【河川への汚濁流出防止対策】

河川での作業時、汚濁防止フェンスの設置を施し作業を行いました。



【建設現場での分別収集の実施】

古紙の分別により産廃コストの削減に努めています。



7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載しています。

8 代表者による全体の評価と見直し・指示結果

ガイドライン2017年版への移行のための取り組みとしては周知や数値記録に費やしたが、次年度への進展への手掛かりを得た取り組みとなった。

新型コロナウイルスへの対応のため換気を行いながら空調を運転することによる光熱費の上昇もあり削減活動には苦慮する所でもあった。

受注産業のため年度ごとに大きく変化する工事規模、工種内容により数値結果には影響するところではあるが今期は満足できる結果で期末を迎えることができた。

CO2排出量の削減については目標達成ができ良い結果となった。環境配慮施工の目標は未達成となったが作業所・事業所廻りへの近隣配慮は清掃活動などを通して一定の評価を頂いているので引き続き地域環境の向上に貢献できる取り組みを継続し、次年度目標に「IT活用を推進し、紙と人の移動の減少による環境負荷の削減」を加え一層の環境負荷低減活動とする。